



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成20年11月25日

NO.

94

第3回（9月）定例会

- 平成19年度決算認定関連記事 …… 2～6ページ
- 委員会レポート …… 8～9ページ
- 一般質問（13人登壇） …… 13～19ページ





**第3回
9月
定例会**

平成19年度決算を認定

歳出決算総額 185億920万円

町民の税金どう使われたか

第3回定例会を9月24日から10月22日まで開催しました。町長より平成19年度一般会計と国民健康保険・老人保健医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の決算認定をはじめ、20年度一般会計及び4特別会計の補正予算、町長及び教育長の給与削減のための条例改正など、20議案が提出されました。また、町長行政報告や専決処分承認及び、住民からの陳情や要望が16件提出されました。

決算に対する総括質問は7人、行政の問題点に対する一般質問は13人が行いました。

決算の認定については、決算特別委員会に付託し、慎重に審査して本会議に報告されました。5人の議員が討論を行い、すべて原案のとおり可決しました。

決算特別委員会

8人の決算特別委員会(委員長・伊藤友子、副委員長・阿部勝雄、委員・伊東圭介、鈴木知一、金崎ひさ、山梨崇仁、中村常光、守屋百弘)を設置し、10月2日から8日まで関係部課長などの出席を求め、細部にわたり審査を行いました。

平成19年度の予算が事業目的に沿い、いかに効果的に執行されたか、また運営の改善がなされたか、行政努力の効果が発揮されたか、福祉や環境面でも向上しているかなど慎重にチェックしました。

平成19年度 各会計別決算状況

会計名	区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		95億7,382万円	97億2,989万3,181円	92億2,263万9,886円	5億 725万3,295円
特別会計	国民健康保険	34億8,130万8,000円	34億4,202万7,425円	32億8,130万 260円	1億6,072万7,165円
	老人保健医療	26億4,765万円	26億1,894万4,415円	26億1,666万7,026円	227万7,389円
	介護保険	20億2,385万円	20億 4万4,074円	19億4,816万1,765円	5,188万2,309円
	下水道事業	15億3,748万8,000円	15億 169万6,664円	14億4,043万2,550円	6,126万4,114円
	小計	96億5,655万6,000円	95億6,271万2,578円	92億8,656万1,601円	2億7,615万 977円
合計		192億3,037万6,000円	192億9,260万5,759円	185億 920万1,487円	7億8,340万4,272円



ヨット体験講座

決算特別委員会審査

どんな**成果**があったか

事業ごとに審査しました（主な事業）

- 小学校耐震整備事業** (1億284万8千円)
葉山小学校屋内運動場の耐震補強等を行った。
- 町費教員賃金** (724万6千円)
各町立小中学校に町費教員（インテリジェント・ティーチャー）を1人ずつ配置した。
- 幼稚園就園奨励事業** (3150万2千円)
私立幼稚園児の保護者に対し、助成金等を支給した。
- 防災対策事務経費** (330万7千円)
津波ハザードマップを作成した。
- 環境保全対策事業** (205万2千円)
下山川流域生態系調査や「ごみと資源物の分け方・出し方」のパンフレットを各戸配布した。
- ヨット体験講座** (4万8千円)
「ヨット発祥の地」という地の利を活かし、新規に小学校5・6年生を対象に行われた。
- 南郷上ノ山公園管理事業** (3835万4千円)
利用者の利便を考慮し、テニスコートDEF全面改修工事を行った。
- 町営住宅維持管理事業** (868万6千円)
町営住宅37戸の維持・管理及び引揚者住宅の解体工事を行った。
- 手話通訳者派遣等事業** (79万4千円)
役場内に手話通訳者を設置するなどの事業のほか、手話奉仕員養成講座を開催した。
- 町議会議員・町長及び町議会議員補欠選挙費** (2090万1千円)
不測の事態により選挙が重なった。
- 自動体外式除細動器（AED）の設置** (22万円)
新規に3台（本庁舎・福祉文化会館・保健センター）設置した。
- 里山保全事業** (14万8千円)
里山にはびこる葛の除去を年3回行った。
- くれ竹の郷葉山推進事業** (933万円)
葉山生活文化の継承と創造及び協働を基本に、制度・体制づくりを推進した。
- 「昭和の日」創設記念事業** (186万2千円)
平成19年4月29日の「昭和の日」創設に伴い、記念事業推進会による記念事業等を支援した。
- 町PR事業** (334万円)
湘南ビーチFM「トーク・イン・ハママ」でのPRとホームページの更新維持管理を行った。
- 姉妹都市宿泊費助成事業** (114万6千円)
草津町での宿泊を助成した。年度内2泊まで（大人1泊2千円、小人1千円）。



南郷上ノ山テニスコート

決算審議総括質問

こんな点が気がかり

質問者の提出原稿を基に編集しています

9月30日・10月1日

に19年度決算に対し総括質問を7人の議員が行いました。

守屋 巨弘
(いきいき葉山の会)

問 経常収支比率は、平成17年度90・5、18年度90、19年度95・2と18年度とくらべ5.2ポイント上昇した理由は。

答 経常経費は対前年度比で3億円強の増、人件費や物件費は前年度を下回ったものの、扶助費が児童手当の拡充などでの増加や公債費が増加したこと。一般会計から下水道事業特別会計への繰出金が基準額の算定方法の一部変更等により、臨時的経費から経常的な経費へ移行したことにより、経常経費が増加する

問 本決算における三位一体改革、すなわち町税収入面での国から地方への税源移譲に伴う個人住民税率の10%フラット化等の影響について。

答 その結果として約9700万円の減収となった。この三位一体改革におけるの当町へ及んだ影響ではマイナス要素が極めて高かった。

問 増大する扶助費の財源をどう捻出するのか。

答 事務事業の全体的な見直しを行い、不要不急の事業費を削減する。扶助費の中でも軽重をつけていくことも大事だ。

問 在任中の財政見通しを示して欲しいが。

答 在任中の財政見通しを示して欲しいが。

待寺 真司
(新葉クラブ)

町長 平成21年度から23年度までの実施計画と整合性を図り作成する。

問 実施計画策定への動きが何もないようだが。

町長 各課からメールで集めている。それを精査し見直しに着手している。

問 下水道計画の見直しに対する取り組みは。

町長 全体計画の見直しの中で、市街化調整区域は合併浄化槽でいく方向性を出していく。下水道審議会を開き方向性を示したい。

問 教育費に関し、枠配分予算をどう考えるのか。

町長 教育の問題に関しては、自分の最大の政策であり、積極的にめり張りを付けた予算を考える。

鈴木 知一 (尚政会)

問 数カ月以上中止している真名瀬漁港内の遊歩道計画だが、現場の状態は現状のままでよいのか。
町長 現状のままでよいとは理解していない。



問 真名瀬漁港漁村再生計画の稚貝放流が19年に行ったが、20年は行われていないか。

都市経済部長 全体計画が決まってから、もう一度種苗放流するというところで検討中だ。

問 真名瀬駐車場の運営管理だが、コインパーキングの検討を願いたい。

町長 収益性などを考慮し検討していく。

問 家庭におけるコンポストの普及は、生ごみからのさまざまな化学物質などの混入で、長期的な堆肥化は危険だ。町長の公約である脱埋め立てにも反する。子や孫の代まで安全な土地を守りたい。

町長 ひとつの意見として承る。

山梨 崇仁 (民主はやま)

問 公約の給与削減が10月まで伸びた。就任直後からの削減ではないか。

町長 公約の中で就任早々から削減するとは謳っていない。

問 真名瀬の遊歩道計画は、砂浜をコンクリートで固めるような遊歩道は造らないということか。

町長 そのとおりだ。

問 人件費削減の発言から数カ月経つが、進捗はあるのか。具体的な計画がないのでは。

町長 手法、時期も含めてまだ発表できない。

問 例えば、職員旅費支給条例の支度代、食事代は、時代錯誤、特権ともとれる。現実に即した形に変更できないか。

町長 今後の検討課題のひとつとしておきたい。

問 公約の財政的裏づけ、コスト計算のある答弁がない。達成状況など、町民にはどのように知らせ

るのか。
町長 進捗状況は、何らかの形で発表したい。

阿部 勝雄 (日本共産党)

問 ごみ処理は町民の協力が不可決。独自処理の理解を得る必要がある。

町長 町独自処理を選択し、ごみ減量化・資源化を推進し、脱焼却、脱埋め立てを目指す。

問 広域と独自処理を比較し優位性を示すべきだ。

町長 比較は大事だ。

問 下水浄化センター3基目処理槽の設置後は。

町長 完了後日量最大約5600m³を想定。

問 1日当りの流入量は。

生活環境部長 平均3910m³、最小3513m³、最大4347m³。

問 流量コントロールはできるか。

生活環境部長 できない。
問 出口までの時間は。 4〜5時間だ。
問 BOD経時的分析は。



生活環境部長 やっていない。目標を達成していると判断している。

問 国保料激変緩和措置を恒久的にできないか。

保健福祉部長 全体の保険料算定で薄まってくる。

畑中由喜子 (いきいき葉山の会)

問 賛否両論のあった「昭和の日」記念事業の総括は。事業費の内10万円位寄付を募るとしていたが。

町長 計画した事業は滞りなく実施されたものと考えている。

総務部長 町からの補助金、県の賛助金があったが余りがでて返還してもらった。寄付はなかった。

問 真名瀬漁港再整備事業の事業評価は。

町長 平成18・19年度事業で、港内静穏度の向上

が図られ、目標を達成していると判断している。

問 下水道事業の総合的な事業評価と見直しは。

町長 累計で市街化区域の約50%に当たる約260ヘクタールを完了した。一定の評価をしつつ、さらなる環境改善をめざし、他事業との兼ね合いを考

えて運営していきたい。

問 3系列目の水処理施設工事に着手する根拠を。

生活環境部長 決算委員会の中で行いたい。

近藤 昇一 (日本共産党)

問 長期財政計画を策定するべきでは。

町長 できるだけ早く策定したい。

問 新年度予算編成に当たり、枠配分予算編成は見直すのか。



町長 公約等も考慮に入れ、従来の枠と違う編成をする。

問 昭和の日記念行事は町の補助事業であるが、すべてを補助金でまかなっている。本来の補助金のあり方ではない。

町長 事業は滞りなく実施された。

問 関連した昭和の散歩道計画の現状は。

町長 「昭和の日」創設記念事業推進会も解散し、現在は散歩道の具体的な事業実施は進んでいない。

問 19年度予算特別委員会の指摘事項で、マリノロード計画について住民の意見を聞くこととの指摘があったが、現状は。
総務部部長 県の計画に載っているが進捗していない。

決算特別委員会の審査報告

10月2日から8日まで

関係部課長などの出席を求め、細部にわたり審査を行い、14日に町長・教育長に対し11項目の質問をし、委員会の意思を決定しました。

質問と答弁

問 経常収支比率に関する基本的な考え方は。

町長 90%を超えないことを目標に人件費や扶助費、物件費等の経常的経費の抑制に努力する。

問 消防職員の増員に関する考えを伺う。

町長 採用された消防職員が初任教育を受ける期間について、職員定数外とすることは定めたが、現職員数47人は、妥当だと思ふ。今後は担当とよく協議する。

問 行政改革懇談会のあり方について。

町長 22年度からの集中改革プラン策定にあたり、開催回数を増やし、意見を

を伺いながら進めていく。

問 旧役場跡地の活用をどのように考えているか。

町長 主馬寮跡地との関連性にも配慮しつつ、町民の福祉向上のために最適な方策を模索したい。

問 農業委員会に関し、今後、集中改革プランに基づく見直し、廃止は行わないのか。

町長 農業の振興は大事であり、地産地消のためにも、農業委員会に期待している。

問 所蔵美術品の展示活用等に関する考え方は。

町長 町民の皆さんの目に触れるようにあらゆる方策を考えるべきであり、売却も検討する。
教育長 精査をしながら、さまざまな機会をつくって展示等をしたい。教育委員会所蔵のものについては売却を考えていない。

問 国民健康保険料は条例化すべきと思うが。

町長 今後も現状のまま

運営をしていきたい。

問 下水道施策の今後について。

町長 イトーピアのコミプラの復活は断念した。町民にはタイミングを見て報告する。下水道区域については21年度中に審議会を開き市街化調整区域を外して合併浄化槽の導入を進め、下山水域の水環境を守っていく。

問 継続稼働予定のクリンセンターの耐震対策はどうするのか。

町長 耐震診断後、方向性を総合的に検討したい。

問 ごみの広域処理離脱に関し、横須賀・三浦両市長との面談は。

町長 三浦市長とは、会っていない。横須賀市長には、1月25日の表敬訪問の際、ごみ処理問題は検討中と話した。

問 老朽化した図書館はしっかりと修繕が必要と思うがいかがか。

教育長 今年度は耐震二

次診断を行う。その結果を受け、予算要求の姿勢も変わってくる。

要望

1. ポスティング業者に對する指導強化を図ること。

2. 合併処理浄化槽に関する指導強化を図ること。

3. 自動車燃料費助成については、より利用しやすくするために利用者の意見を聞くこと。

4. 各種補助金等の交付先、金額、件数等詳しい表記方法を検討すること。

4. 付属説明書の記載方法について、成果実績のあるものは詳しく表記すること。

6. 所蔵美術品の常設展示を検討されたい。

指摘

1. クリーンセンター各種委託事業に関し、他の方法あるいは業者の

選定方法等検討を要する。

2. 街路灯点検の強化を図るべきである。

3. 施設能力等の資料提出にあたっては、必ず許容量等の最大値を盛り込むべきである。

意見

1. 在宅高齢者住宅改修費助成事業実績の減少を踏まえ、高齢者が増えている状況での対応策として、PRの拡大も含め検討すること。

2. 子どものために、今後も町費教員等の施策を充実させること。

3. 障害児の幼稚園受け入れ補助金は、現状に即して充実すること。

4. 小中学校のトイレ清掃を教育の一環、経費節減の観点からも教師、生徒が行うべきである。

4. 図書その他施設(国、県等)との相互貸し出し事業は実績等評価すべきである。

平成19年度の決算審議結果

金崎 ひさ
伊東 圭介
山梨 崇仁

賛成討論

◎一般会計

- ・図書館蔵書の購入は646万4,000円であったが、町民の要望をかなえるための方策として、パソコンを駆使しての他施設との相互貸借は大変充実しており、評価すべきことである。
- ・収入未済額が273万6,482円減少した。
- ・扶助費や公債費等の義務的経費の増加が見込まれる中で、限りある財源を福祉、環境、教育、防災、消防等の各分野における町民生活に深くかかわりのある課題への対応に配分することにより、第三次総合計画の着実な推進を目指している。
- ・4つの基本目標に沿って計画された諸事業の結果を見ても、初期の目的はおおむね達成されたものと考ええる。
- ・公債費比率は5.3%と4ポイント下がり、厳しい財政状況の中で行財政改革が実行され、財政運営が適切に行われている。
- ・平成19年度は町政が混乱し不安もある中、町職員はその期間も確実な事務執行をしたことを評価し、現職の職員の職務執行能力がなした一つの成果であり、それは町政の有効な資産であると認識している。
- ・ごみの総量が18年度比でおよそ10%削減した事実は大いなる評価に値する。
- ・職能評価の観点から賛成をする。

◎下水道事業特別会計

- ・一般会計からの繰入金金を4,500万円引き下げた上、入札差金を利用して予定以上の面整備が整ったことは評価できる。
- ・供用区域も広がり、水質汚濁と生活環境の改善が見られるようになっている。
- ・水洗化率が8.5%という急激な数値上昇を見せた。

反対討論

阿部 勝雄
守屋 亘弘

◎一般会計

- ・予算編成の枠配分方式には根本的な見直しが必要。
- ・経常収支比率が、前年度と比較して5.2%上昇した。
- ・国際姉妹都市10周年記念式典に計300万円の支出は、町民の理解が得られるものではない。
- ・1円の寄付も集まらなかった「昭和の日」創設記念事業は町単独事業ととれる。
- ・宅配サービス事業は費用対効果も考慮し、中止を含めて再検討するべき。
- ・利用者が増えていない在宅高齢者住宅改修補助制度は工事対象を介護保険適用と同じに限定したことにも問題がある。助成対象を広げるなど、制度の見直しが必要ではないか。
- ・焼却炉改善策が大きなメリットを生むことがわかった。不具合を無視してきた前町長の施策の誤りだ。
- ・し尿処理処分は、地球環境の悪化だけでなく、町にとって大きな財政負担だ。
- ・真名瀬漁港再整備事業は町民の合意が得られないような計画そのものが問題だ。
- ・美術収集保管事業は売却を含め、町民に還元する方策をとるべき。
- ・小・中学校就学援助金制度は近隣同様の基準を設けて補助を拡充するべきだ。

◎国民健康保険特別会計

- ・国の資格証発行を義務づけるべき。
- ・保険料は住民負担の安定を図るため、条例化すべき。
- ・一般会計からの繰入金は、次年度に繰り越して基金に積み立て、次年度の保険料に組み入れるべき。
- ・収入未済額が16年度決算から増え続けている。賦課方式に何らかの瑕疵があるか、あるいは当然ながら見直すべき。

◎下水道事業特別会計

- ・町財政難が叫ばれ、見直しを迫られているにもかかわらず、相変わらず全町公共下水道を進めるとして、見直しすることを避けてきた。
- ・ほとんどの事業が下水道事業団任せで進められてきた。町として調査研究にさらなる努力を重ねるべき。

賛成多数により

認定

決算審議に要した日数 6日間

各会計別決算の結果

- ◎一般会計……………賛成10人・反対6人
- ◎国民健康保険特別会計……………賛成11人・反対5人
- ◎老人保健医療特別会計……………全員賛成
- ◎介護保険特別会計……………全員賛成
- ◎下水道事業特別会計……………賛成10人・反対6人

※議長は採決に加わっておりません。

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会 計 名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額	
一 般 会 計	8,891,101	260,201	9,151,302	
特 別 会 計	国民健康保険	3,316,452	65,727	3,382,179
	後期高齢者医療	633,679	—	633,679
	老人保健医療	351,199	4,925	356,124
	介 護 保 険	2,098,387	53,998	2,152,385
	下 水 道 事 業	1,390,775	5,264	1,396,039
	小 計	7,790,492	129,914	7,920,406
合 計	16,681,593	390,115	17,071,708	

平成20年度補正予算

(△は減額)

一般会計(補正額 260,201) 単位：千円

<歳入> 主なもの		単位：千円
・普通交付税		△50,000
・総務費国庫補助金		1,531
・前年度剰余金		306,807
・商工費雑入		1,863
<歳出> 主なもの		
・職員給与費		14,222
・基金積立金		160,000
・町PR事業		1,812
・システム開発事業		24,570
・課税事務費		4,725
・小児医療助成事業		2,953
・老人保健医療特別会計繰出金		3,648
・ごみ焼却処理事業		36,750
・下水道投入施設整備事業		4,106
・下水道事業特別会計繰出金		△45,000
・小学校耐震整備事業		2,720
・中学校耐震整備事業		3,200

国民健康保険特別会計(補正額 65,727)

<歳入> 主なもの		
・医療給付費現年度分		△80,000
・前年度剰余金		145,727
<歳出> 主なもの		
・国民健康保険事業運営基金積立金事業		40,000

老人保健医療特別会計(補正額 4,925)

<歳入> 主なもの		
・一般会計繰入金		3,648
・前年度剰余金		1,277
<歳出> 主なもの		
・国庫負担金等償還金		4,925

介護保険特別会計(補正額 53,998)

<歳入>		
・前年度剰余金		49,882
<歳出> 主なもの		
・介護保険給付費支払基金積立金		40,000
・国・県支出金等返還金		4,555

下水道事業特別会計(補正額 5,264)

<歳入> 主なもの		
・一般会計繰入金		△45,000
・前年度剰余金		50,264

補正予算質疑

問 普通交付税がゼロになった理由は。

総務部長 株式等の譲渡所得に関わる交付金が8千万円の増収となったため、不交付団体になった。

問 県の指導によるごみ焼却施設の改修について、県の検査実態を伺う。

生活環境部長 検査は不定期で19年に2回行われ、重油を余分に燃やす対応の改善計画を提出した。

20年2月の検査では根本的改修の指導があり、今回

補正予算を計上した。これにより重油1億円の節約と、CO対策になる。

問 学校の耐震整備事業の進捗状況と今後の計画は。

教育部長 全ての工事が1年前倒しで22年度に完了予定。

問 観光協会からの協力金は真名瀬駐車場の収入の一部だが、駐車場を機械化する考えは。

町長 真名瀬と長者ヶ崎駐車場で24時間営業の機械化を実現したい。

問 小児医療費助成事業の周知は。

保健福祉部長 対象者に直接知らせている。

問 小児医療費助成の所得制限撤廃は町の財政運営も考慮すべきでは。

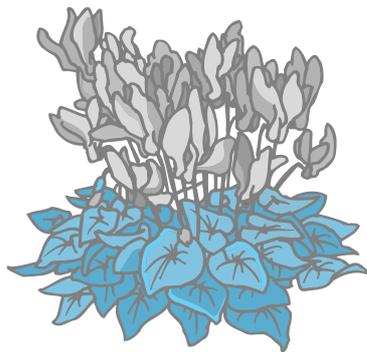
町長 葉山の場合、他市町と比較し遅れていた。財政全体を考慮して考えている。

問 し尿下水道投入施設整備事業によって町内のし尿全量処理できるのか。

生活環境部長 可能だ。

問 国民健康保険料収入8千万円の更正減は当初見積りが甘かったのでは。

保健福祉部長 当初予算の保険料算出は、過去5年間



の医療費の伸び率を算定しており、一概に保険料が高かったとは理解していない。質疑の後、一般会計と4特別会計は全会一致で可決しました。

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

「葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例」

この議案は、町長が公約とした給料削減を行うため、条例の一部改正を提案されたものです。質疑の中で、給料月額削減が期末手当及び退職手当の算定に反映され

ないことや、森町長の在任中に限られているなど問題点が指摘され、当議案に対して、伊藤友子委員長5人から修正案が提出されました。

採決の結果、修正案を全会一致で可決すべきものと決しました。

「教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例」

この議案も、前議案と同様の理由から、伊藤友子委員長5人より修正案が提出され、採決の結果、修正案を全会一致で可決すべきものと決しました。

て委員会意思は決定されているので、全会一致により不採択すべきものと決しました。

「原子力空母など米海軍原子力艦船の安全性の確立に関する陳情」

この陳情は、原子力艦船の安全性の説明及び確立などを、議会で採択し国に意見書の提出を求めているものです。

採択・不採択・趣旨了承と意見が割れましたが、協議の結果、全会一致により趣旨了承し、国に意見書を提出すべきものと決しました。

「真名瀬遊歩道審議の正道化」

この陳情は、「課題とプロセス」を明確にしなさいでの審議は、交付金返還になる可能性が高くなるため、課題とプロセスを決める条件を理解し、議会に審議の正道化を求めているものです。委員からは様々な意見

が出ましたが、町側の早急な対応を求めするため、全会一致により採択すべきものと決しました。

「葉山町の良好な海辺環境を保つ条例制定を求める陳情」

この陳情は、町の良好な海辺環境を保つため、海の家の営業を昼間主体とし、騒音を規制する条例の制定を求めているものです。

委員からは、踏み込んだ規制の内容には疑問があるが、陳情者の願意は条例制定を求めているもので、条例内容は様々な意見を聴く中で策定するべきとの意見がありました。

委員会としては、町民本位の条例制定が陳情の趣旨との理解から、全会一致にて採択すべきものと決しました。

所管事項調査

○真名瀬漁港再整備事業について

○前副町長の海浜地不法占用について

○水源地の現地踏査

○長者ヶ崎の町有地について

委員長 待寺真司

教育民生

「医師・看護師を増やし地域医療と公立病院の充実を行うよう県に対しての意見書提出を求める陳情」

陳情の要旨は、全国で医師・看護師・助産師不足によって地域の病院や診療所が閉鎖され、必要な医療が受けられない事態が進行している。特に産科や小児科、救急などを受け入れる病院が減っており、医師不足も深刻である。また、救急告示医療施設も減っている。このような状況は、神奈川県でも進行しており、地域で安心して住み続けられるようにするために医師等の確保や公立病院への財政的支援などの緊

急、抜本的な対策が必要であるため、県に対し意見書の提出を求めているものです。

委員会としては、医療現場の状況が厳しくなっており、陳情趣旨には賛同できるとの意見がありました。また、過去に同様の陳情を採択した経緯もあるので全会一致により採択し、意見書を提出すべきものと決しました。



真名瀬漁港

「国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の提出を求める陳情」

成は、憲法違反との見解もあり、反対であるとの意見がありました。

陳情の要旨は、神奈川県内の園児、児童、生徒1人当たりの私学助成額は、全国最低水準で、高校への初年度納付金額の公称格差は7倍にも達している。また、経済的な理由で入学を断念、もしくは家計の急変などで退学せざるを得ない状況を生み出している。憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念に基づき私学助成の一層の充実と少人数学級の実現を図ることについて、国と県に対して意見書の提出を求めているものです。

審査の中では、経済的な理由で教育を受けられないという事は、あつてはならないことであり、採択し、意見書を国・県に提出すべきという意見と、陳情の趣旨には賛成できるが趣旨了承のみにとどめるべきという意見と、また、私学助

「葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情」

陳情の要旨は、前記の陳情と同様の趣旨で、葉山町に対して、現行の私学助成制度を更に拡充するよう求めているものです。

委員会は、町の私学助成制度の現況からして、趣旨了承が妥当ではないかとの意見があり、全会一致により趣旨了承すべきものと決しました。

所管事項調査

- 学校給食について
- 生きている事業団の事業について
- 小児医療費助成制度の改正について
- 葉山町特定健康診査等

実施計画について

報告事項

- 給食費の値上げについて
- 保土ヶ谷工業(株) (下水道工事請負業者) 破産の件
- 「葉山はばたき」改修工事の件

ごみ問題特別

8月の「ごみ特」が要求していた焼却施設の資料が提出され、以下明らかになった点を質疑した。

- 現行炉はほとんど荏原パージョンで、他社の補修は無理で随意契約している。
- 焼却の最終が19時30分、更なる残業はしていない。
- 現行炉は補修で何年で

も使えるが、補修費は年1億5千万円ほどかかる。

9月2日・9月19日 議会基本条例文の素案づくりのための小委員会を開催した。

○現行炉の解体は約3億2千万円。新規最少炉の建設費は、20t炉が12億5千万円ほどかかる。

9月19日 第3回定例議会の審議日程、付託案件の付託先などを検討した。

○ごみ成分分析で、生ごみ60%、紙類12%等、資源化できる可能性が高い。

10月9日 陳情第20号「議会基本条例」について町民との意見交換を求める陳情、陳情第20号「議会基本条例制定」にあたり、検討段階から町民参加を求める陳情2件を一括審査した。審査の結果、現在、議会基本条例の制定作業は進行中であり、その過程の中で考慮していくべきものとして継続審査とした。

○焼却場の主な費用は人件費約3億、管理費約2億3千万、収集委託費約8千万、重油約1億円(し尿70%)等である。

10月17日 定例議会中締め切り後提出された陳情2件について、付託先と本会議での取り扱い日程を検討した。

更なる現状改善の意見や要望が出された。今後は「ゼロ・ウェイスト」の可能性を議論する。

10月22日 町長の一般質問中の答弁の撤回変更の申し出への対応について検討した。

委員長 阿部勝雄

議会運営

7月8日 議会基本条例文の素案づくりのため小委員会を開催した。

10月22日 町長の一般質問中の答弁の撤回変更の申し出への対応について検討した。

8月26日 横浜の自治会館に於いて行われた県町村議長会による正副委員長研修会に出席した。

委員長 佐野司郎



小学校給食の試食メニュー

こんなことが決まりました

◎葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の改正

町長および副町長の給与を在任期間中のみ、それぞれ約10%削減するものです。ただし、期末・退職手当については、改正前の金額を適用する提案でしたが、期間の限定をせず、すべて削減後の給与額を適用する修正を行い、賛成多数で可決しました。

◎教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正

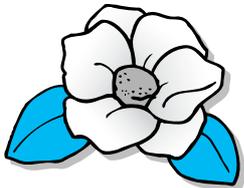
町長・副町長の給与と同様の提案でしたが、同じように修正し、全会一致で可決しました。

◎森英二町長に反省を求める決議

総務建設常任委員会において、森英二町長自らが神奈川県環境農政部水産課長あてに葉山町都市経済部産業振興課長名で提出した文書が、関係規定に違反する文書であることが明らかにしました。

町長は法令を遵守し、職員を指揮監督する立場であるにも拘らず、独断でこのような行為を行った森英二町長の姿勢は、町政全体に対する町民の信頼を裏切る結果を招くことになり、その責任は極めて重大で、まことに遺憾である。

よって、葉山町議会は、このような結果を招いた森英二町長に対し、その責任を十分自覚し、深く反省するよう強く求める決議を全会一致で可決しました。



みなさんからの 請願・陳情のゆくえ



- ◎「〈協同労働の協同組合法〉の速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情 …………… 採 択
- ◎医師・看護師を増やし地域医療と公立病院の充実を行うよう県に対しての意見提出を求める陳情 …………… 採 択
- ◎国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の提出を求める陳情 …………… 採 択
- ◎葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情 …………… 趣旨了承
- ◎特別職の報酬削減について町長の公約履行を求める陳情 …………… 不 採 択
- ◎原子力空母など米軍原子力艦船の安全性の確立に関する陳情 …………… 趣旨了承
- ◎真名瀬遊歩道審議の正道化…………… 採 択
- ◎葉山町の良い海辺環境を保つ条例制定を求める陳情 …………… 採 択

◆◆◆ なお継続して審査します ◆◆◆

- ◎「議会基本条例」について町民との意見交換を求める陳情
- ◎議会基本条例制定にあたり、検討段階から町民参加を求める陳情書
- ◎「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政処置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情書
- ◎「原油・肥料・飼料高騰」並びに「平成21年度税制改正」に関する陳情
- ◎葉山浄化センター委託協定の実施の延期を求める陳情
- ◎真名瀬漁港整備に関する陳情書
- ◎真名瀬漁港環境整備に関して議会に厳正なる審議を求める陳情書
- ◎「真名瀬漁港再整備事業全般の施設検討委員会公募及び設置」お願いの陳情

意見書を提出しました

◎地方自治法第99条の規定により、各意見書は提出先へ送付いたします。
◎紙面の都合上、内容は要約させていただいております。

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

ワーキングプア、ネットカフェ難民、偽装請負(派遣)などに象徴される新たな貧困と労働の商品化が広がり、全国共通の課題である。協同労働の協同組合は、働くことを通じて、人と人のつながりを取り戻し、コミュニティの再生を目指す活動を続けている。同組合は、働く者が出資し合い、全員参加の経営で仕事を行う組織で、多くの人々がこの「協同労働」に携わっており、日本社会に広がりつつある。しかし、同組合には根拠法がなく、また社会的理解が低いことから、法制度を整備していく必要がある。国会及び政府においては、社会の実情を踏まえ、市民活動という側面のみならず、新しい労働のあり方や就労の創出、地域の再生、少子・高齢社会に対応する有力な制度として、「協同労働の協同組合法(仮称)」を速やかに制定するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年9月24日

葉山町議会

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣・総務大臣・経済産業大臣

「神奈川県後期高齢者医療広域連合」の運営改善に向けての意見書

「後期高齢者医療広域連合」は、法律により各都道府県単位で運営すると規定され、神奈川県でも33の市町村が「広域連合」を組織し運営がなされている。しかし、現在、「神奈川県後期高齢者医療広域連合議会」は、定数が20名となっており、横浜市・川崎市・横須賀市・相模原市を除く市町村は、選挙区分でくくられており、「広域連合議会」の議員を何年かに1回しか選出することができない。全国に目を向けると、実に21の府県では全市町村から議員が選出され、「広域連合議会」が運営されている。

よって、速やかに県内すべての33市町村の議会から、少なくとも1人の議員を選出し、「広域連合議会」での活発な議論を促し、制度の充実や住民への周知徹底を図れるよう、「広域連合規約」を改正するよう強く要望し、広域連合長による規約改正の発議を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年10月22日

葉山町議会

提出先 神奈川県後期高齢者医療広域連合広域連合長

米原子力空母など米海軍原子力艦船の安全性の確立及び町民の安全対策を求めることに関する意見書

葉山町議会では、平成17年11月の臨時会において「原子力空母配備合意の撤回を求める意見書」を賛成多数で可決した。

しかし、現在まで安全性の確保に関しては、日本が主体的に調査・取り組みを行うことができず、横須賀市に隣接している町及び町民にとって、安全・安心のまちづくりに支障をきたすおそれがある。

このような状況を鑑みて、町民の生命・財産を守り、安全・安心のまちづくりを推進していくために、町民を代表して葉山町議会は日本政府に対して、次のような安全・安心の措置を直ちに講じられるよう強く要望する。

- (1) 原子力空母など米海軍原子力艦船に関する安全性の確立及び説明責任を果たすこと。
- (2) 原子力事故を想定した避難訓練の実施など町民の安全を確保すること。
- (3) 事故発生時には、迅速な情報公開と事後の報告を徹底し行うこと。
- (4) 自治体を実施する安全対策に対し、財政措置を考慮すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年10月22日

葉山町議会

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣・防衛大臣

医師・看護師を増やし地域医療と公立病院の充実を求める意見書

神奈川県でも医師・看護師・助産師不足が進行しており、地域で安心して住みつづけられるようにするために、医師等の確保や公立病院への財政支援など緊急、抜本的な対策が必要である。

よって、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

- (1) 公立病院への財政支援を強化し、医療機能の充実を図ること。
- (2) 医師・看護師・助産師確保対策を抜本的に強化すること。県立保健福祉大学における看護師・助産師養成定数を大幅に増員すること。
- (3) 地域の救急医療充実のために救急告示病院に対する財政的支援を大幅に増額すること。
- (4) 県西部2次医療圏に3次救急病院を設置すること。
- (5) 県立6病院を地方独立行政法人化することなく、財政支援を強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年10月22日

葉山町議会

提出先 神奈川県知事

私学助成制度の充実を求める意見書

神奈川県における園児、児童、生徒一人当たりの私学助成金の額が全国でも低いレベルである。また、私学の学費は公立高校と比べると著しく高く、保護者の経済的負担が増大し、私学への入学を断念もしくは退学せざるを得ない状況を生み出している。

すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめる、心の通う学校をつくるためには、教育費と教職員を増やし、私学への助成制度を更に拡充することが望まれる。

政府・県は、次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

- (1) 私立助成国庫補助金の削減方針に反対し、増額を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年10月22日

葉山町議会

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・神奈川県知事

表 決 結 果

議案・請願・陳情\議員名(議席順)	伊東	鈴木	金崎	土佐	山梨	阿部	近藤	畑中	佐野	加藤	待寺	鈴木	伊藤	中村	森	守屋	笠原	結 果
	圭介	知一	ひさ	洋子	崇仁	勝雄	昇一	由喜子	司郎	清	真司	道子	友子	常光	勝美	巨弘	俊一	
議案 平成20年度葉山町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成20年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成20年度葉山町老人保健医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成20年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成20年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 決算の認定について(平成19年度葉山町一般会計歳入歳出決算)	○ 討論	○	○ 討論	○	○ 討論	× 討論	×	○	○	○	○	○	○	×	×	× 討論	○	可決
議案 決算の認定について(平成19年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	○ 討論	○	○ 討論	○	○ 討論	× 討論	×	○	○	○	○	○	○	○	×	× 討論	○	可決
議案 決算の認定について(平成19年度葉山町老人保健医療特別会計歳入歳出決算)	○ 討論	○	○ 討論	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 決算の認定について(平成19年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算)	○ 討論	○	○ 討論	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 決算の認定について(平成19年度葉山町下水道事業特別会計歳入歳出決算)	○ 討論	○	○ 討論	○	○ 討論	× 討論	×	○	○	○	○	○	○	×	×	× 討論	○	可決
議案 葉山町認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
議案 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
議案 葉山町職員旅費支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町土地開発公社定款の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町議会議務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 「<協同労働の協同組合法>の速やかな制定を求める意見書」採択を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 医師・看護師を増やし地域医療と公立病院の充実を行うよう県に対しての意見書提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 葉山町の私学助成制度拡充を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情 特別職の報酬削減について町長の公約履行を求める陳情	×	×	×	×	×	×	× 討論	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	不採択
陳情 原子力空母など米海軍原子力艦船の安全性の確立に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情 真名瀬遊歩道審議の正道化	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 葉山町の良好な海辺環境を保つ条例制定を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

○は賛成 ×は反対 議長に表決権はありませんが、可否同数の時のみ議長が決めます

「除斥」とは審議の公正を期すために利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度です



地元業者の育成を

質問

いっぱん

質問者の提出原稿（11字×50行）を基に編集しています

守屋巨弘

議員報酬の削減について

町長 議会です自主的に取り組むべき



問 町長は町長選に出馬の際に、選挙公報では「行政をスリム化し財政を健全化させる」として、副町長を廃止し、町長・教育長・議員の給与を削減

し、職員の人件費を適正化する」と公約した。議員報酬の削減についての町長の考えは。

町長 本件は県内他の町村議会議員との比較、地方公共団体を取り巻く環境や議員の職務内容、職責並びに町の財政状況など諸々の状況を踏まえる中で、町議会がまず自主的に取り組んでいただくべきものだ。

町長 公約での議員報酬の削減とは、具体的にどのような削減幅なのか。

町長 今回町長・教育長の出したが、現時点では議員の方々がその職務内容等をよく勘案して、まず審議をしていただくことが先で、

町長から当該議案を提出する段階ではない。

町長 非常勤特別職の報酬の削減・定数の見直しについて、教育委員会委員長は月額8万円、委員は同7万6千円の報酬を得ている。平均月1回の委員会に出席で、これは余りに高額ではないか。また同委員の定数は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条で同委員会は5人の委員をもって組織するとあるが、ただし書きで町村の同委員会にあっては3人の委員をもって組織することが

町長から当該議案を提出する段階ではない。

町長 非常勤特別職の報酬の削減・定数の見直しについて、教育委員会委員長は月額8万円、委員は同7万6千円の報酬を得ている。平均月1回の委員会に出席で、これは余りに高額ではないか。また同委員の定数は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条で同委員会は5人の委員をもって組織するとあるが、ただし書きで町村の同委員会にあっては3人の委員をもって組織することが



町長室への入口

近藤昇一

リフォーム資金助成制度の検討経過は

町長 予算化の検討に入りたい



問 住宅リフォーム資金助成制度の検討経過について伺う。

町長 住宅リフォーム資金助成制度の検討経過について伺う。



町民とのお約束

問 実現不可能な公約は。
町長 イトーピアのコミ
 プラ復活は断念した。
問 下水処理場増設は森
 町長が議案として提出し
 議決されているので増設
 不要の公約は撤回か。
町長 増設は必要だった。
問 勘違いで掲げた公約

町長 収入役と町長交際
 費の廃止である。もとも
 とないものであった。
問 町民それぞれがマニ
 フェストを信じ投票して
 下さったことにより、町
 長席に座っているという
 ことを認識しているのか。
町長 認識している。
問 公共施設の原則無休
 化について。
町長 人件費との兼ね合
 いがあり検討中である。

問 葉山港駐車場の年末
 年始の開放が中止された。
 再開すべきと思うが。
都市経済部長 県と協議
 中でおおむね可能である。
問 逗子市の窓口活用に
 ついて、国の相互乗り入
 れ実験に応募するのか。
町長 そのつもりである。

問 東伏見など3団地の
 コミプラの継続活用は。
町長 基金が底をつき設
 置年数も経っているが、
 補修・料金の問題を考え
 ながら活用する。
問 市街化調整区域を戸
 別の合併浄化槽にするた
 めの方策として地域再生
 計画を策定するお考えは。
町長 前向きに考えてい
 るが大きな壁が1つある。
問 町長の言う「自区内
 処理」とは。
町長 広域ではなく、町
 単独で処理方法を考える
 ことと思っていた。今後
 は「単独処理」と言う。



金崎ひさ

森議員の辞職の撤回について 六菖十菊（時期外れで役に立たないこと）だ

町長 今までの実績値を
 入れて計算し直す。
問 外したら調整区域の
 水環境は。個人負担1割
 の「浄化槽市町村整備推
 進事業」の検討は。
生活環境部長 年間20戸
 以上設置の計画となるが、
問 小型炉と民間委託費

町長 削減努力していく。
問 減量化しても残る。
 小型焼却炉が必要では。
町長 ごみを減らせば施
 設はいらない。
問 目標、収集、分別
 等施策を示し協力を得る。

と比較すべきでは。
町長 減量化を進め、残
 りを外部にお願いする。
問 焼却の民間委託は自
 区内処理に反しないか。
町長 3割以上減らせば
 外部委託でも安くなる。
問 減量化・資源化への
 町民の協力を得る方策は。
町長 目標、収集、分別
 等施策を示し協力を得る。



阿部勝雄

市町村管理型の合併浄化槽制度の検討は 生活環境部長 国庫補助制度があるので検討したい

問 下水道の方向転換を
 審議会に諮問すべきでは。
町長 審議会に諮るのは、
 平成22年度の事業認可の
 取得の時でも遅くない。
問 下水道から外せば、
 別の水環境整備が必要だ。

町長 浄化槽の補助を継
 続し、効率性、整備費等、
 適正に汚水処理を進める。
問 外すかどうかの検討
 を事務担当者でできるか。
町長 審議会の前に、外
 すことは是非を考えたい。

問 平成13年度の浄化槽
 と下水道の比較には最終
 処理場建設費が含まんで
 ない。10年間の実績値を
 入れて見直しすべきだ。

町長 収入役と町長交際
 費の廃止である。もとも
 とないものであった。
問 町民それぞれがマニ
 フェストを信じ投票して
 下さったことにより、町
 長席に座っているという
 ことを認識しているのか。
町長 認識している。
問 公共施設の原則無休
 化について。
町長 人件費との兼ね合
 いがあり検討中である。

問 葉山港駐車場の年末
 年始の開放が中止された。
 再開すべきと思うが。
都市経済部長 県と協議
 中でおおむね可能である。
問 逗子市の窓口活用に
 ついて、国の相互乗り入
 れ実験に応募するのか。
町長 そのつもりである。

問 東伏見など3団地の
 コミプラの継続活用は。
町長 基金が底をつき設
 置年数も経っているが、
 補修・料金の問題を考え
 ながら活用する。
問 市街化調整区域を戸
 別の合併浄化槽にするた
 めの方策として地域再生
 計画を策定するお考えは。
町長 前向きに考えてい
 るが大きな壁が1つある。
問 町長の言う「自区内
 処理」とは。
町長 広域ではなく、町
 単独で処理方法を考える
 ことと思っていた。今後
 は「単独処理」と言う。



小規模合併処理浄化槽

中村常光

独断専行で一方的に広域処理を離脱したのでは
町長 選挙公約で選ばれ、独断専行には当たらない



視、独断専行で覚書を破棄したことは問題ではないか。

町長 選挙公約に基づき町長に選ばれたもので独断専行との指摘は当たらない。

問 ①広域処理を一方的に破棄したが、自区内処理を単独でできるのか。

町長 構想と現実的に焼却施設を使用との整合性は。

町長 町単独で十分対応できる。

町長 ゼロ・ウェイスト政策は新焼却炉の建設は

問 ②町民無視、議会軽

政策は新焼却炉の建設は



葉山の浜に遊歩道を

問 10月に開所した子育て支援センター「ぽけっと」の利活用促進策と財政的措置について伺う。



町長 指定管理者制度のメリットである、民間活力やノウハウを活用し、利用者のニーズに柔軟に対応し、地域の子育ての

問 町長マニフェストで

町長 聞こえにくい状況など関連させながら調査を進めて行く。

待寺真司

子育て支援センター「ぽけっと」の利活用を
町長 事業者のノウハウを活用し利用者のニーズに対応する

問 真名瀬漁港再整備事業について、平成17年から6ヵ年計画で実施して

反対派のリーダーが町長室に赴き、異議を唱え、

町長 精査し改善する。

拠点としたい。庭の部分が未整備のままで非常に気になってる。必要に応じて予算措置を取る。

町長 子育て・教育環境の施策は、自分の大きなテーマである。誕生祝い金制度や学童保育の充実など、当事者の皆様と話す機会を設けながら検討したい。新たな事業実施は財政状況を踏まえ、さらに検討を加えたい。

町長 ご指摘の件は、総務部・消防本部と時折協議・相談をしている。



整備が待たれる「ぽけっと」のお庭

森 勝美
町長 知事と面談の折、国への要請をお願いする



放射能検知のモニタリングポスト設置要望を国にすべきでは

町長 知事と面談の折、国への要請をお願いする

問 地域防災計画で避難所となる施設や防災倉庫の備蓄品は考慮されているが、避難所での対応など充実させる計画は。

町長 毎年1回以上防災会議を実施し、内容を検討している。

問 備蓄品に車椅子がなく、粉ミルクも無い避難所があるが。

町長 粉ミルクは賞味期限が短いので12缶をロテーションしている。

問 災害時、災害ボランティアの活用が有効と思うが。

町長 日赤神奈川支部



遊具が撤去された公園

参加者が20人いる。

問 米空母ジョージワシントンが横須賀基地に配備された。事故発生の場合放射能検知のため、モニタリングポスト設置要望を国にすべきと思うが。

町長 三浦半島首長懇談

問 夕方の2時間だけでも子供たちの居場所の確保を、といった要望が多い。放課後子どもプランや学童保育の拡充など、6月の質問後その対応は。

町長 継続する経費としては、財政的に厳しい。

教育部長 6月議会以降、

山梨崇仁
町長 当然、予算配分は考えている

子供たちが安心して遊べる場所を

会がある。その時松沢知事に要望する。

問 高齢者、障害者が安心して暮らせるために、災害時要援護者支援マニュアルが必要と思うが。

町長 19年度で21・5%。男女共同参画社会の形成に向けて学校での取り組み状況は。

問 男女共同参画推進事業について国では女性の参画加速プログラムを決定したが町の状況は。

町長 男女共同参画推進事業について国では女性の参画加速プログラムを決定したが町の状況は。

問 男女共同参画推進事業について国では女性の参画加速プログラムを決定したが町の状況は。



放射能検知のモニタリングポスト

問 ゼロウェイスト宣言より、町民の理解を得るため、むしろごみの非常事態宣言が必要では。

町長 非常に大事な点だ。必要かと考える。

問 行政評価は、職員の方の意識を止めないトップの器が求められるが。

町長 前回6月の答弁では何かという一歩に返って、スタートする。

総務部長 私も含め、まずは職員から行政評価と

畑中由喜子

マニフェストの実現には総合計画への反映が必要では

町長 手続きを経て見直しを進める



町長 基本計画の一部は既に内部で修正作業をしている。実施計画は21年度予算に間に合わせる。

問 計画書に掲載されて

問 下水道やごみ問題の見直しを初め、町長選のマニフェストに掲げられた数々の政策を実現していく上で総合計画に反映させる必要がある。が、今回の見直し内容は、21年度予算に間に合うか

問 計画書に掲載されてから、一度も検討すらされなかったマリンロード構想、情報公開条例への改正、福祉の拠点整備の見直し等は。

問 海辺環境保全条例制定までのスケジュールは。



町長 できれば3月議会に条例提出したい。

都市経済部長 海水浴場の組合、町内会の代表や保健所、警察、海上保安庁の方々をいれ、条例化に向けた合意が得られるようにやれば、6月議会

町長 基本計画の一部は既に内部で修正作業をしている。実施計画は21年度予算に間に合わせる。

鈴木道子

太陽光発電普及に補助制度を 町長 検討する



でも可能と思っている。

問 (仮称)主馬寮公園整備

は今後、国有地の残りの部分も含め、どのような対応が考えられるか。将来にわたる財産となり得るので、役場を挙げて取り組んでいただきたい。

町長 財務省からは、来年3月までに町としての計画を出してもらえれば、それを優先的に考えたい、

町長 財務省からは、来年3月までに町としての計画を出してもらえれば、それを優先的に考えたい、

なければ一般に販売する

という話だったが、有効な活用計画立案には期間が短く、折衝の結果、6月までを期限としたと言われた。更に財源の問題もあるが、せつかくの場所を生かす意味で非常に大事に考えていきたい。

町長 財務省からは、来年3月までに町としての計画を出してもらえれば、それを優先的に考えたい、

町長 財務省からは、来年3月までに町としての計画を出してもらえれば、それを優先的に考えたい、

教育長 指摘の趣旨を校長会等で依頼していく。

問 給食費値上げの状況と米飯給食の状況を伺う。

教育長 16年間据え置いたが来年度より300円値上げで3900円とする。米飯は週平均25回だ。

問 米は人間に必要な9種類のアミノ酸のうち8つが含まれパンよりも安価だ。回数増をすべきだ。

教育部長 様々な話をし、3回を目標としていく。

問 省エネ診断の状況と今後の取り組みを伺う。

町長 5団体から診断を受け一番安価な方法として230個を蛍光球に変えた。計画的に進めるべき。

町長 連携して進める。

がある。研究し公共建築物にまず設置すべきだ。

町長 魅力ある制度としよう。研究していく。

問 ドクターヘリの離着陸場所の増をすべきだ。

町長 学校の校庭など調査し検討していく。

問 AED設置場所の周知と貸し出し用AEDの設置をすべきだがどうか。

消防長 消防署には貸し出し用が無い。検討する。



太陽光発電

清 加藤
 放射能機器の設置の考えは
 町長 国・県に要請していく



問 クリーン葉山は海岸を主として実施しているが、ボランティアの方を募って、この時に里山の手入れをしていく考えは。
町長 緑に覆われた葉山を守ることは、非常に大

事なことであり使命でもある。ボランティアの方をクリーン葉山にあわせて、全町的に呼び掛けを考えた。

問 知事に直接要請をしたい。
町長 第一報は町に入る。放射能汚染に対して、影響を低下させる安定ヨウ素剤の備蓄はされてい

るのか。
町長 備蓄してある。横須賀市と同様に40歳以下の全人口に行き渡ること

を考えていく必要がある。
問 モニタリング等を含めた放射能測定機器、設備の設置の考えを伺う。
町長 放射能測定機器、設備は高価なものであり、町独自で設置するもの

なく、国・県に設置の方

士佐洋子
 町長 地上デジタル放送の対応について
 町長 すべての家庭で受信ができるように



問 逗子市が誘致を予定している総合的病院について、一度は否定された救急医療委託費の葉山町負担について、改めて葉山町も応分負担する考えを持っていないか伺いたい。
町長 病院ができればそれなりにするというこ

で、応分の負担も考えるべきではないかという趣旨と受けとめる。
問 葉山の近隣の病院についてのアクセスは。

ついて見直しを行っている。
問 防災計画をHPに載せることはできないか。
消防長 当町も検討したい。

問 地デジの対応については。
町長 公共施設において必要、十分対応しなければいけない。すべての家庭で鮮明に受信ができる、視聴ができるようにするべきと考え、対応について今後検討する。

保健福祉部長 町民の方に対しどのような病院があるのか、広報等でお知らせする考えはできる。
問 自主防災組織への交付金は1世帯当たり1千円、購入額の80%上限で制度化されているが。

消防長 交付金の要綱に

よび湘南地区の防災連絡協議会の中でも今後協議をして、訓練をしていき



総務省のパンフレットより



伊藤友子

みんなで実現させよう「水源地の水と土地」の活用方法
町長 プロジェクトチームの設置を検討したい



上山口の水源地

問 水源地の水利権と周辺土地約6千坪強は、宮内庁の所有。総務建設常任委員会で現地視察を行った際、この土地の一部や水の有効利用が可能と

町長 水源地が町民にと

問 真名瀬漁港の遊歩道

町長 水源地が町民にと

町長 水源地が町民にと

町長 水源地が町民にと

として世に出すとか、子どもたちが自然に親しむプロジェクト設置とか、町民の憩える場の創造とか、利用方法を考えるプロジェクトチームの設置と調査費の計上を図りたい。

町長 水源地が町民にと

町長 水源地が町民にと

町長 水源地が町民にと

払うばかりでほとんど目の見ることがない。積極的な活用と公開、またカタログの作成を望む。

教育長 今後役場庁舎や教育総合センター、図書館等に常時展示を行い、特別絵画展も行いたい。

町長 コンクリートで自然のままの海辺を望む町民が多いということだ。

町長 コンクリートで自然のままの海辺を望む町民が多いということだ。

総務建設常任委員会
行政視察報告

1、視察日 平成20年9月4日(水)～5日(木)
2、視察地及び目的
①和歌山県広川町
・防災(津波)対策
②和歌山県串本町
・漁業の振興策
3、視察概要
視察1日目に訪問した広川町では、防災対策の中で、特に津波防災対策事業について学びました。
安政の大地震の際、紀伊半島一帯を襲った大津波により、甚大な被害があった広川町では、その時の教訓が引き継がれ、防波堤整備等津波災害対策が進んでおります。昨年には、津波防災の象徴として功績が現代に語り継がれている、故郷の恩人濱口梧陵氏の記念館を併設した、津波防災教育センター「稲むらの火の館」が開館し、広く津波に対する市民への啓発活動に力を注いでおります。
また、町民の自主防災活動に対し、行政も組織立ち上げの支援・指導・補助等積極的に関与したり、職員防災参集マニュアルにおいては、細部における災害時の対応を規定しているなど、大変参考になる説明がありました。
ハード面でも、太陽光と風力を利用し、震度5以上で作動する「稲むらの火避難誘導灯」の設置は、葉山においても必要な施策であると感じました。実際に津波防災教育センターで、津波発生の際のメカニズムや津波の恐ろしさを体感したり、津波に対する危機管理意識の向上を図る必要性を強く認識した視察でした。
2日目に訪問した串本町は、本州の最南端に位置しラムサル条約にも

批准している、サンゴが群生している地域が点在するなど、大変美しい海岸線が東西に長く伸びている風光明媚な町です。
町内には25の漁港を有し、観光漁業を始めとした漁業の近代化推進、水産物の安定供給の確立とブランド化促進、世界初ぶどうの養殖の研究など、漁業基盤の整備が着々と進められております。
また防災対策の観点からも、住民の安全・安心を最優先にした、漁港の整備には特に力を注いでおり、現地視察を行った動鳴気漁港と、漁村再生交付金事業である舟瀬漁港の工事が終われば、漁港整備事業は完了するとの説明がありました。

観光漁業施設として漁協直営の「檜野釣公園センター」や「串本海中公園」の視察も実施し、自然環境を守りつつ、漁業を生活の中心とし、住民の安全を最優先させたハードの整備には、串本町の揺るぎない施策の遂行を感じました。

町民の津波等防災に対する意識は高く、地震・津波防災訓練には全町民の15%が参加し、実践的な訓練に取り組んでいきます。

議 会 活 動 日 誌

今回は、第2回定例会終了以降、第3回定例会終了までの活動報告をいたします。

Table with columns for date, committee name, and meeting details. Includes entries for 7月 (行政視察, 議会運営委員会), 8月 (総務建設常任委員会, 議員懇談会), 9月 (議会運営委員会小委, 議会運営委員会), and 10月 (本会議, 決算特別委員会).

おわび

前号(第93号)の2頁に誤りがありました。おわびして訂正します。◎人権擁護委員の推薦について「本田清法氏」の姓を「本多」に訂正します。

町長

行政報告

(1千万円以上 5千万円未満の契約)

- ①葉山処理区(一色)枝線 築造工事(その1) 3580万3千円
②葉山処理区(一色)枝線 築造工事(その2) 3844万1千円
③葉山小学校校舎トイレ 改修工事 3999万5千円
④葉山処理区(一色)枝線 築造工事(その3) 1727万3千円
⑤ごみ焼却処理施設スタライザー補修工事 1197万円

議会交際費 支出状況

(平成20年4月~9月)

平成20年度上半期支出総額は171,529円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください。)

Table with 3 columns: 種別 (Category), 件数 (Number of items), 金額(円) (Amount in Yen). Rows include 慶弔費 (15,000), 会費 (5,500), 謝礼 (8,290), 寸志(祝金) (101,300), 賛助金他 (41,439), and 合計 (171,529).

表彰

去る4月17日鈴木知一議員が神奈川県村議会議長会会長より、永年勤続11年の表彰を受けました。



おめでとうございます。先日、防衛大学校開校祭に行きました。恒例の棒倒しは寒い雨風の中、それでも行われました。ひとつの目標に友と一丸となつて進む姿に、尊いものを見た思いでした。仲間のために、家族のために、そして日本のために、「大和」をテ

表紙説明

10月18日、最高の運動会日和に恵まれ、葉山小学校の運動会が開催されました。

たくさんさんの保護者の暖かい見守りと声援を受け、子どもたちは楽しそうにそしてはりきって、思い切り力を発揮していました。先生がたも子どもたちと一体となって、運動会を楽しんでいる姿はほほえましいものでした。

大人も子どもも共に学び、共に育つ葉山。私たちの未来をこの子たちに託したい。



平成20年 第4回定例会は 12月5日(金)からの 予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

議長 笠原 俊一

- 議会広報特別委員会: 畑中由喜子, 近藤 昇一, 伊東 圭介, 鈴木 知一, 金崎 ひさ, 山梨 崇仁, 鈴木 道子, 森 勝美